



城陽おひさまプロジェクト news

第 38 号 2020 年 6 月 1 日 NPO 法人市民共同発電をひろげる城陽の会
0774-55-4190 <http://joyonokai.sakura.ne.jp>

第 8 回通常総会、6 月 13 日に開催

新型コロナ感染予防に留意、ソーシャルディスタンスやマスク着用

会場は「ぱれっと JOYO 会議室」、委任状の活用も

今年の総会は、新型コロナウイルス（COVID-19）の流行により会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしております。「緊急事態宣言」が 5 月 21 日に解除されたことから、徐々に社会的活動も再開され、会場の確保など準備ができる状態となりましたので、延期しておりました今年度の総会は 6 月 13 日に開催することといたします。まだ感染予防に留意しなければなりませんので、総会のみで開催となります。記念講演等につきましては秋以降の適当な時期の開催を検討しています。

新型コロナウイルスの世界的な流行を受けて理事会において、このような対応を決定いたしました。NPO 法人発足以来初めての経験であり、ご迷惑をおかけいたします。異例の事態ではありますが、ご理解とご協力をお願いいたします。開催日程等は次の通りです。

日時 6 月 13 日（土） 午前 10 時 30 分から 11 時 30 分（10 時開場）

場所 ぱれっと JOYO（JR 城陽駅南東へ徒歩 5 分）

議題 2019 (r01) 年度の主な活動及び決算

2020 (r02) 年度の活動及び予算

その他

* 議案書を同封しております。

* 正会員の方には委任状を同封しております。時節柄、ご参加いただけない場合は委任状での参加をお願いいたします。

ゼロ円システムの普及と会費納入を

今年度も本会の活動の柱の一つである、ゼロ円システムでのソーラーパネル設置の推進は引き続き行っていきます。また、このような時期にご足労をお掛け致しますが、会費 500 円の納入をよろしくお願いいたします。納入に際しましては、出来れば「ゆうちょ銀行口座」への振り込みをお願いいたしたいと思います。

会費（500 円）納入口座

ゆうちょ銀行：記号 14400 番号：10163511

口座名義人：特定非営利活動法人市民共同発電をひろげる城陽の会

（仮）シンキョウトウカツデンヲヒロゲルジョウヨウカイ

他の金融機関からの振込の場合は

店番：448 普通預金口座番号：1016351 口座名義人：上記に同じ

原発ゼロ、温暖化防止のために電気を選ぼう！

2020年3月改定 再エネ重視新電力紹介(京都府内各家庭で購入契約可能)

パワーシフトキャンペーン事務局提供関西エリア最新情報

生活クラブエナジー	FIT電気35.5%(太陽光8.5%、風力6.6%、小水力3.5%、バイオマス16.9%) FIT以外25.5%(バイオマス)、市場調達39.0% *組合員限定 0120-112-075
みんな電力	FIT電気(太陽光4.5%、風力23.1%、小水力4.8%、バイオマス25.8%、その他0.2%) 再エネ(その他)18.8%、外部電源3.7%、市場調達19.1% 045-633-4301
GREENaでんき	FIT電気・再エネ17.4%、常時バックアップ15.6%、市場調達他67% 0120-33-7775
太陽ガス	FIT電気 太陽光等4.2%、市場調達54.9%、常時バックアップ他43.1% 099-273-2651
ならこーぷ	FIT電気(太陽光10%、風力2%、小水力1%、バイオマス8%、BG26%)、外部電力34%、 市場調達他19% *組合員限定(京都府内のならこーぷ加入者OK) 0120-577-039
みらい電力	FIT電気20.1%(太陽光19.2%、小水力0.9%)、再エネ5.8%、外部電源その他74.1% 052-756-2331

パワーシフトキャンペーンに参加していない再エネ重視新電力

京都生協	ベーシックでんき、バリューでんき FIT電気35.1%(水力、太陽光、バイオマス)、リサイクル発電1.7%、 ガス火力8.2%、石炭火力36.1%、石油等0.4%、市場調達5.1%、他13.4% ゼロでんきプラン FIT電気100%(Jクレジットによる) *組合員限定 0120-11-2800
自然電力	FIT電気30%プラン、100%プラン(非化石証書による)(東京ガスと資本提携) FIT電気53%(自然電力保有発電所)、市場調達44%、その他3% 0120-561-797
ソフトバンク電気	自然でんきプラン FIT80.9%、市場調達3.2%、他15.9%、リサイクル0.007% *再エネプランのみの紹介(その他プランは東京電力と業務提携)0800-170-3710

パワーシフトキャンペーンが重視する点

- 1、「持続可能な再エネ社会への転換」という理念がある
- 2、電源構成などの情報開示をしている
- 3、再生可能エネルギーを中心として電源調達する
- 4、調達する再生可能エネルギーは持続可能性のあるものであること
- 5、地域や市民によるエネルギーを重視している
- 6、原子力発電や石炭火力発電は使わない
- 7、大手電力会社と資本関係、提携がないこと

パワーシフトキャンペーンが紹介する基準

- 1、電力会社とパワーシフトキャンペーンで共有できていること
- 2、電源構成を電力会社ウェブサイトを開示していること
またはパワーシフトキャンペーンに提示し、開示計画をしめしていること
- 3、再エネ電源を重視することが電力会社のウェブサイトに記載されていること
- 4、持続可能性に注目して発電所を選び、「持続可能でない発電」を使用していないこと
または部分的に使用している場合は、メイン電源ではなく、かつ懸念表明および減らす計画の表明があること
- 5、実績や計画、方針が石炭火力発電所との直接契約がないこと
- 7、・大手電力会社の子会社でないこと
・大手電力会社と共同出資会社を設立していないこと
・大手電力会社との提携電力プランがないこと

NPO法人市民共同発電をひろげる城陽の会 電話0774-55-4190 bnkmf858@kcn.jp